

3款 民生費  
1項 社会福祉費

2目 高齢者福祉費

事務事業名		養護老人ホーム入所措置事業			担当課	高齢介護課			
区分	経費	財源内訳							
		うち 人件費	うち その他	国県支出金	受益者負担	市債	その他	一般財源	
前年度	117,333	1,422	115,911	0	15,530	0	0	101,803	
本年度	108,971	1,482	107,489	0	14,580	0	0	94,391	
増減額	△ 8,362	60	△ 8,422	0	△ 950	0	0	△ 7,412	
概要及び目的	概要	概ね65歳以上の者であって、環境上の理由及び経済的理由等により居宅において養護を受けることが困難な者を、適切な養護老人ホームへ措置入所させる。							
	対象	働きかける相手・もの	環境上の理由、経済的理由で居宅において養護を受けることが困難な高齢者。						
	手段	方法・働きかけ	高齢者の福祉を増進するため、養護老人ホームへの入所措置を行う。						
	意図	対象をどのようにしたいか	適切な養護を行うことで、生活全般の環境を整える。						
実施状況	活動指標					単位	前年度実績	本年度実績	
	ア	新規措置者数				人	9	6	
	イ ウ	措置者総数				人	48	44	
目標達成度	成果指標					単位	目標値	前年度実績	本年度実績
	ア	新規措置者数/措置決定をした者の人数				人	-	9	6
	イ ウ								
前年度	次年度に予算(コスト)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	特になし							
	次年度以降に予算(コスト)を必要とし、中長期中で実施する改善策	特になし							
今年度	前年度評価時の実績(改善の実施等)	特になし							
	成果と課題	<p>【成果】</p> <p>居宅において養護を受けることが困難な者であり、かつ、老人福祉法に基づく措置に該当する者に対して、適切な養護老人ホームへの措置入所を実施することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>引き続き、老人福祉法に基づく措置業務を実施していかなければならないが、実際には介護保険での施設入所等と重なる部分もあるため、今後の老人保護措置業務の適切なあり方についても検討・協議していく必要がある。国の経済政策に伴う介護従事者の処遇改善の動きの中で、養護老人ホーム職員の処遇改善が求められており、対応を検討する必要がある。</p>							
次年度	コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	特になし							
	コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	全国的な介護従事者の処遇改善の動きに合わせた措置単価の見直し。							

3款 民生費  
1項 社会福祉費

2目 高齢者福祉費

事務事業名		認知症高齢者等個人賠償責任保険事業				担当課	高齢介護課		
区分	経費	財源内訳							
		うち 人件費	うち その他	国県支出金	受益者負担	市債	その他	一般財源	
前年度	417	292	125	0	0	0	0	417	
本年度	284	146	138	0	0	0	0	284	
増減額	△ 133	△ 146	13	0	0	0	0	△ 133	
概要及び目的	概要	認知症高齢者等が他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊すことなどにより、法律上の損害賠償責任が発生した場合に備えて、認知症の人を被保険者とし、これを補償する保険に市が加入することで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる街づくりを推進する。							
	対象	働きかける相手・もの	認知症等により、徘徊の恐れがある高齢者であり、かつ、徘徊SOSネットワーク事業登録者						
	手段	方法・働きかけ	認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の実施						
	意図	対象をどのようにしたいか	賠償が発生した場合に、認知症高齢者及びその家族の経済的損失を軽減						
実施状況	活動指標					単位	前年度実績	本年度実績	
	ア	研修会等での周知				回	9	8	
	イ	徘徊SOSネットワーク事業の新規加入者への周知				人	64	24	
目標達成度	成果指標					単位	目標値	前年度実績	本年度実績
	ア	加入者数(2月末)				人	毎年度	63	67
	イ	新規加入者数				人	毎年度	71	21
前年度	ウ	徘徊SOSネットワーク事業新規加入者の保険加入率				%	100	—	97
	前年度	次年度に予算(コスト)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	市報や認知症に関する各種研修会等における周知の他に、県認知症医療センターをはじめ、認知症施策の中核となる関係機関に働きかけることにより、本事業のさらなる周知を図る。						
今年度	前年度評価時の実績(改善の実施等)	県認知症医療センターが参加する研修会等で、本市の取り組みとして、本事業の紹介をしてもらうなど関係機関と連携し、本事業の周知を図った。							
	成果と課題	<p>【成果】</p> <p>本事業の実施により、認知症になっても住み慣れた地域で住み続けるにあたって、認知症の方やその家族の安心に繋がっており、相乗効果として徘徊SOSネットワーク事業の登録者増にも繋がっている。</p> <p>【課題】</p> <p>高齢化が急速に進む中で、在宅で生活を続ける認知症高齢者は増加しているため、本事業の新規加入者数を増やすために、どのように周知していかかが課題である。</p>							
次年度	コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	認知症に関する各種研修会等における周知の他に、県認知症医療センターをはじめ、認知症施策の中核となる関係機関に働きかけることにより、本事業のさらなる周知を図る。							
	コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	特になし							

3款 民生費  
1項 社会福祉費

2目 高齢者福祉費

事務事業名		長寿祝金支給事業			担当課	高齢介護課			
区分	経費	財源内訳							
		うち 人件費	うち その他	国県支出金	受益者負担	市債	その他	一般財源	
前年度	34,729	3,271	31,458	0	0	0	0	34,729	
本年度	33,882	3,421	30,461	0	0	0	0	33,882	
増減額	△ 847	150	△ 997	0	0	0	0	△ 847	
概要及び目的	概要	老人福祉法第2条の基本的理念(老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。)に基づき、長寿を祝い、多年にわたり社会の進展に寄与された功績に対する感謝として、節目にあたる77歳、88歳、99歳、100歳以上の方に、口座振込又は現金で、長寿祝金の支給を行う。							
	対象	働きかける相手・もの	当該年度内に満77歳(8,000円)、満88歳(15,000円)、満99歳(20,000円)、満100歳以上(30,000円)になる方で、4月1日から9月1日(基準日)まで本市に住所を有している者						
	手段	方法・働きかけ	対象者に申請書を提出していただき、祝金を支給する。						
	意図	対象をどのようにしたいか	対象者全員への贈呈						
実施状況	活動指標					単位	前年度実績	本年度実績	
	ア	申請書受領件数				件	2,521	2,395	
	イ ウ								
目標達成度	成果指標					単位	目標値	前年度実績	本年度実績
	ア	支給者数				人	毎年度	2,521	2,395
	イ ウ								
前年度	次年度に予算(コスト)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	申請書の記入ミスを防ぐため、申請書様式を分かりやすく改良をする。							
	次年度以降に予算(コスト)を必要とし、中長期で実施する改善策	なし							
今年度	前年度評価時の実績(改善の実施等)	申請書様式を分かりやすく改良したことで、昨年度に比べると記入不備が格段に減った。しかし、記入不備がある申請書も一定数あり、改良後においても記入方法がわかりにくいといったご意見も一部あるので、工夫・改良の余地はある。							
	成果と課題	<p>【成果】</p> <p>昨年度から口座振込となったが、対象者2,398人中2,395人の方に支給することができた(99.87%)。多年にわたり社会の進展に寄与された功績に対する感謝の意を込めて実施している事業であり、今後も継続して実施していく。</p> <p>【課題】</p> <p>対象者が提出する申請書の記入不備(印漏れ、口座番号)により、事務作業が滞ることがある。全庁的に押印省略の流れはあるが、請求行為が伴うため、押印に代わり本人確認書類を追加添付させるように変更する方がかえって不備書類の増加を招く恐れがあるため、検討が必要である。</p>							
次年度	コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	申請書の記入不備を減らすべく、記入例や様式の工夫等の改良を継続していく。							
	コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	高齢者を対象としたデジタル端末機器取得助成を行う予定であり、高齢者のDX化推進を加速するために、本事業のうち、特に77歳の対象者に対して、電子申請や地域ポイントでの祝金給付を検討する必要がある。							